

拾遺都名所圖會卷之二目錄

龍青龍尾

昆沙門堂

鏡山

光秀塚

將軍塚

堤河

鶴森

親鸞瓦鋪

娘ヶ池

聖護院

栗田社舊跡

吉備公像

袖競

安祥寺

小瓶治水

青蓮院

菰殿子

風羅坊舊趾

堀出觀音

秋葉祠

熊野権現

丸府墳

明星水

袖原

松坂

花頂山旧趾

耕耨菴旧跡

法勝寺舊蹟

滿願寺

東天王

御所稲荷

新羅社

善正寺

真如堂稻荷

明王寺

栗田神明宮

比丘尼坂

在原行平亭

在塔

西教寺

蓼倉茶師

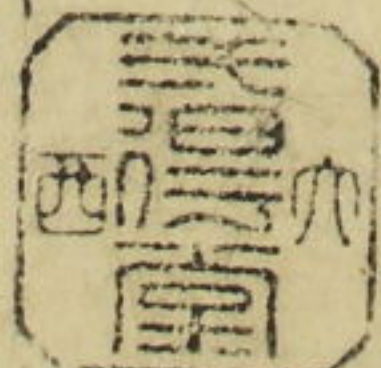
願成寺

鳥居大路

お辰

月輪

迎稱寺



伊澤

芝薬師
 神樂園
 春日社 若宮 勅使堂
 吉田泉殿
 法性寺
 青龍寺
 二軀石佛
 砂川 柳ヶ辻
 龍王宮
 千石岩
 十禪師社
 愛宕墓
 中將實方家
 極樂寺
 智福院
 神樂園神
 業平朝臣廟
 正栄寺
 佛々
 陽成院陵
 頼政山莊
 樓門瀧
 如意城趾
 中尾山
 後愛宕墓
 北白川天満宮
 東北院
 西天王
 兼俱祠
 一本松一本松
 長徳院
 地藏堂
 小督局家
 靈鑑寺
 池地藏
 大豊社
 白河
 貞信公亭
 照高院
 元真如堂 醍醐水
 本丸祠
 新長谷寺
 身隠森
 武藏寺
 後一條院陵
 三本木
 如意寺 霊木杉 鹿宮
 葵谷
 辨慶屋鋪
 白河陵
 公任卿山莊
 心性寺

丸生山
 金福寺
 圓光寺 御宮
 狸谷不動
 月彌寺流
 榎中納言敦忠山莊
 守禪庵
 赤宮
 小野毛人墓
 觀音石
 矢背天満宮
 波那志里社
 惟喬親王舊蹟
 白川石佛
 芭蕉庵 碑銘
 桑山觀音 檜植塔 坐禪石
 白鳥城
 玄母坂
 林丘寺 修學寺 桑
 大納言年名御回蹟
 寶幢寺
 淨蔭山
 神子淵
 紀貫之家
 大原上野
 小野神社
 願仙祠 丈山碑銘
 隆松
 一系寺天満宮
 花之谷
 不動堂 水飲 地ヶ化
 道入寺
 山端
 蓮華寺
 甲淵
 住吉石
 淨蔭社 同例 桑
 十禪寺
 敏行朝臣家
 舞樂寺天王
 比良本社
 曼珠院
 鷲森 鬚隠 天王
 叡山若那谷
 禪義庵
 理昂院
 高野社
 千束破
 矢瀬川
 炭竈里
 攝取院
 膳子社

西方院
 寶積橋
 羅漢橋
 鉄盤石
 静原峠

真光寺
 來迎橋
 法然上人腰掛石
 寂光院 補遺

賣山灰翁墓
 後鳥羽院陵
 姫祠 大津社
 火壺雨壺風壺

小野氷室
 獅子石
 良運法師公莊
 龍峯越

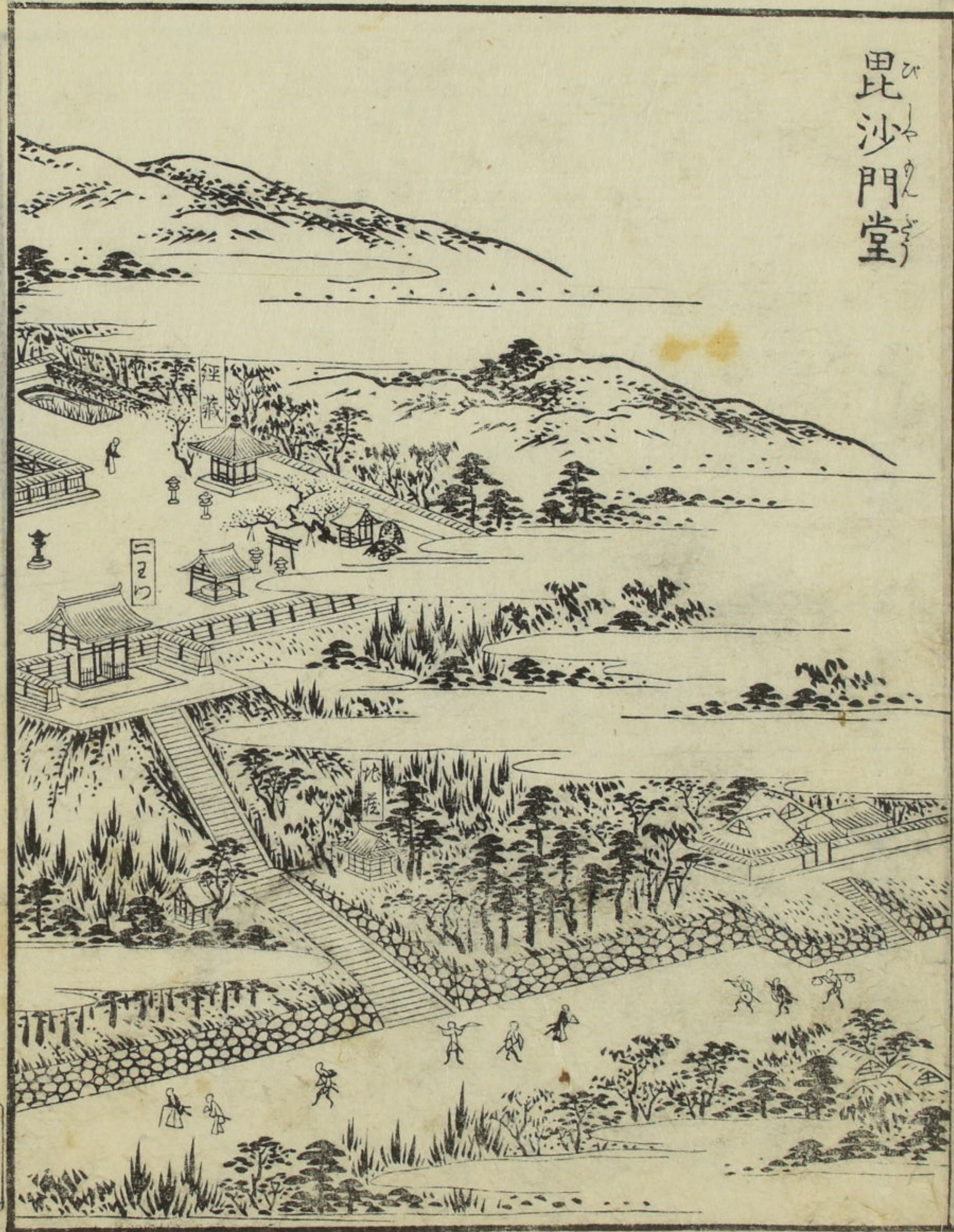
山科
 毘沙門堂御門前

毘沙門堂の傳教
 大所の御基の之
 初平安城今出川
 の水あり今塔
 の壘といふ所
 前編に見入る





山本



毘沙門堂



山科

本寺

天

伊澤

三五二

山科
明王寺
鏡山



鏡池

陵村



山科
安祥寺

日山神明宮 粟田山あり鎮坐の義報歴久遠し清く其後天啓

影向石 鳥井の石神本 宇治橋 當社乃入口あり坂あり

明智光秀塚 日所黒谷道の東二町計あり

小鍛治宗近水 日所佛光寺墓所あり西石壁の下あり

花頂山 粟田山の西青蓮院の後にあり華厳寺あり

比丘尼坂 粟田山にあり西一町大谷の北にあり古は比丘尼寺なり

將軍塚

粟田山にあり城上あり

青蓮院

粟田山の鎮座あり天台宗あり始祖の傳教大師中興の大僧正行玄

和尚形

保延四年十月廿九日座主小任と治山十七年之身二覺快法親王

耕雲草菴

花頂山の奥にあり耕雲の権大納言右大將補藤原長親卿

は十とせあまら白川の東花頂山乃奥小幻質とわら

在原行平卿亭

今定まるる次

堤河

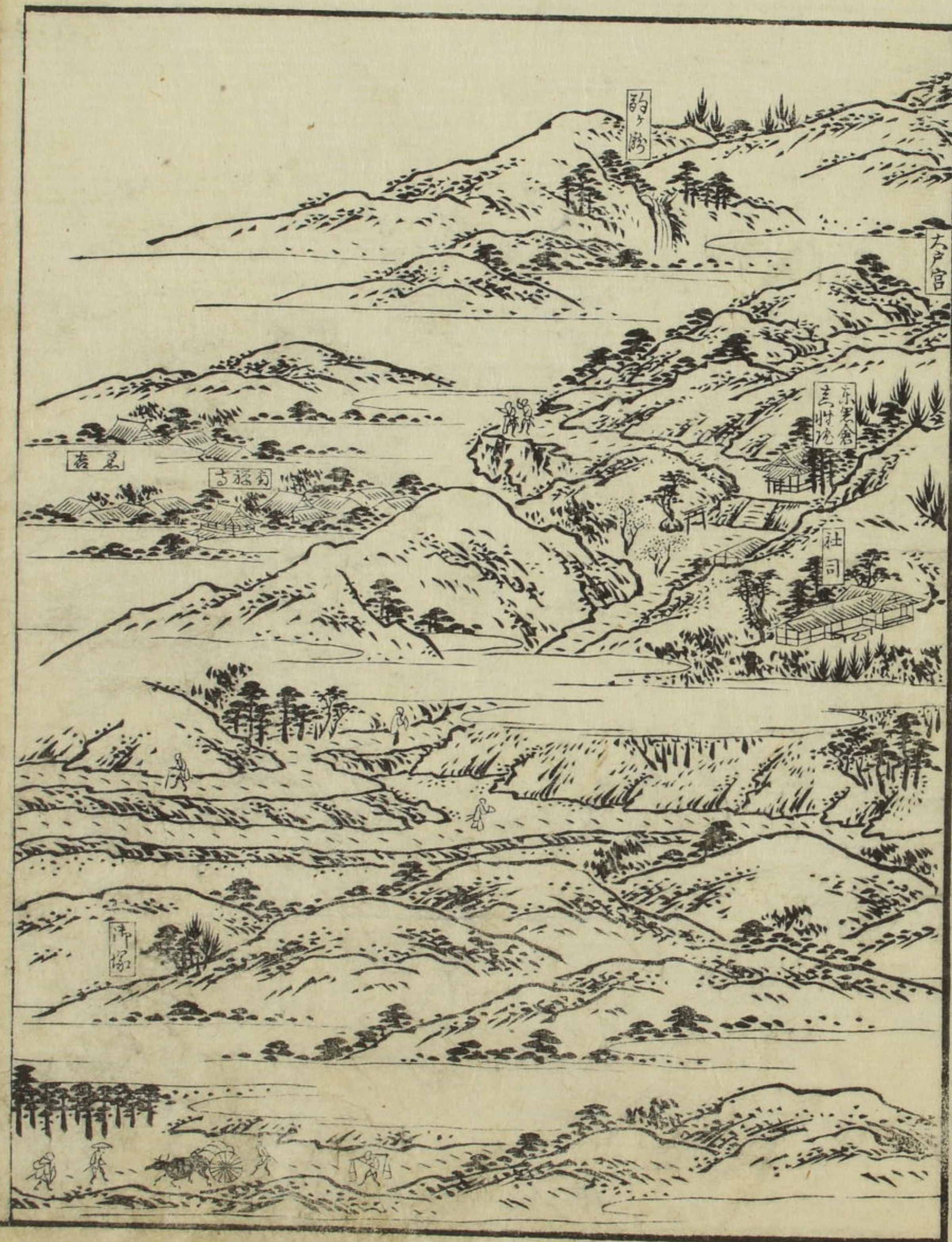
鴨川の東にあり又近川とも近き河系

源氏物語常巻云あり川よりなれあゆらるる川のりや

稜殿

鴨川の東にあり小谷の末にあり

六帖 月とのあやを絶せしはくを絶河系と云



山本



大日山
神明宮
東岩倉

跡上
安養寺
神明鳥居前



法勝寺舊蹟

下岡崎あり法勝寺の一負ありていしへは法東大履あり
 常行堂曼陀堂不動堂山王社八十六間廻廊南大門西門北門等巍々
 行幸し人の中興の祖は法勝寺の舊蹟なり
 西教寺の草創と云ふ寺應仁の亂に焼く
 塔壇九重の塔れり
 十間餘の芝生ありて中々樗の木三株あり土人云々本と樹を對して
 法勝寺の舊蹟なり
 俊寛屋敷 日村東の森乃中あり法勝寺修行俊寛僧都の住し
 糸極のさうり小法勝寺と云く
 風雅之よしと云く
 家集 君代法乃と云く
 其外法勝寺の内成勝寺乃乃の東三條の小白川橋の東之延勝寺の乃乃法勝
 寺の回りの西小あり園勝寺乃乃の延勝寺の回りの西小あり園勝寺の乃乃園崎
 村乃西北車道の一町計ありあり園勝寺の乃乃二條の南鴨川の東あり都て
 され法勝寺といふはもと諸堂壯麗ありて法勝の日の 帝行幸あり
 拾遺抄ありあり
 共小應仁の亂ありあり
 下岡崎南の端西一町計田畑の中あり一堆の丘ありて上小樹本あり
 森ありていしへは法勝寺の舊蹟なり
 其の乃より雲一村ありて法勝寺の舊蹟なり
 の術とて具怪鳥は退治感と云く

下岡崎南の端西一町計田畑の中あり一堆の丘ありて上小樹本あり
 森ありていしへは法勝寺の舊蹟なり
 其の乃より雲一村ありて法勝寺の舊蹟なり
 の術とて具怪鳥は退治感と云く



へそを
 寄る
 花
 とき



初花衣を
 かり
 一衣
 袖引
 賑
 廬あり
 りり
 省小
 けの
 坊の
 形

風羅坊舊蹟 岡崎小ありて定ありて今北所小懸着阿羅古

都經徧の時 たつとくさふ侍し没しすて後其門下の者落人惟然

小棲て朝夕の勤 ふ小羽の發句とれ後そて視い本魚うちあつて

ふふ心と清し月雪とあわれ る終ふ室永八の年二月九日

ありゆる遺詞 ふより全銀と却し翁の肖像六の形見

惟然乃門 播広る千ふ附属は今姫路の小増位ふ凡羅坊と

遷して堂 と營つ小安並し側小塚と築ての義の塵と納て

築塚 ふふ又具側小姫府の城主の發句と石小鑄く

とき瓜葉や 凡より屋まそ母名を身世

満願寺 下岡崎東側小あり岡基は日亨上人 岡加井 堂前乃あり

文字天神 當寺乃鎮守之堂前の小あり 初ハ小井小

蓼倉薬師 満願寺乃小隣る本多ハ傳教大匠の坐像一尺餘

寺院破壊 して宗室も漂流しとふと

親鸞屋敷 五切庵とありて親鸞聖人三十三歳の時

掘出観音 乃小川橋殿下の別荘乃回地あり田の字と月輪と

東天王社 日所東の端小あり祭神半頭天王華表の額正一位

願成寺 東天王の南小あり大念佛ありて

秋葉社 上岡崎南側小あり近年遠別秋葉と権現と

御所稻荷社 日所小あり初ハ一條殿内小あり

鳥居大路 上岡崎南側小あり近年遠別秋葉と権現と

押寄 て鳥居大路と家名と

あり 其苗鹿ハ今青蓮院門跡の家名

下園崎
満願寺



伊澤



瓦葺坊曰

東天皇



伊澤

願成寺



下恩塔村

聖護院

上岡崎の岡基の智證大師中頃より三井の清門主は親王清住職

終ひ修驗道と兼て公伏と官領し終ふ凡公伏天台真言の二院あり天台は當清門

小属はまれの當山といふ終野二の檢校の天治年中僧正行多故其初と云

聖護院二親王宮又十首

草庵

阿の玉のまのりたる日影りたる處なりと云 頓阿

熊野權現社

聖護院社あり鳥居乃願當宮ハ 後白河上皇の勅願りて

終野新宮勸請し終ふ初に封境廣くをて宮殿の金砂を鏤免樓門

廻廊後舎經堂巍々たり 殿初建立乃時の終野より土砂を運りてを宮殿

今あり所の本社富士淺間社 楢荷社 役行者堂あり

惣として社の方境廣くをてと云 老樹本林として本後芝羽鬱

炎暑の時納涼の地と

新羅社

聖護院築垣乃棟頼小あり中 新羅明神の小祠あり是三井の

飯成社

聖護院森の異小あり世小お底狐といふ所新楢荷の川上氏と云

粟田社

舊地ハ聖護院本林の西北小ありいへ大慶より宮殿巍々たり

續神記之 諸神記之 今田地乃字板ヒトク井といふ土人崇徳院を謬と唱りたり

粟田宮ハ 崇徳院 宇治悪左府頼長 六條判官為義板元曆元

年四月十五日勸請しをて建久四年八月十五日己酉系と始む自今已後今

月中酒を用るなり 室有と下されぬ内蔭寮の清幣宣命と云られ

上卿民部卿経房卿使内藏助惟宗久義應永七年九月九日當社の神供

御精進也 大中臣日記云 建武元年七月五日粟田社焼拂ふの所小島中重連

身命と并て清神體壘清宮板取出奉り文和二年二月朔日再建同六月

廿日ト部兼敦承て遷宮と神主ハ隆昌重連兩人更く五年宛され板補と

盛衰記云

元暦元年四月十八日子時崇徳院の遷宮あり春日 町 の末の河系れ東あり

け所の大炊殿の跡先年の戰場也 中界 又故宇治大長尾の廟曰と東方小と

玉葉

粟田宮を合小海部と云ふ事板讀せりといふ

十訓抄

日一合小海部と云ふ事板讀せりといふ

家集

崇徳院は樂百首あり小日子 子の日せりまもたまぬねと乃神也昔小まらるる也

松塚 聖護院 森乃西南二町計あり是則宇治悪た府親長の社地あり
上ノ松を植たり世の人松塚と呼ぶ實ハ府郷より一平靈験あり
威ハ新由て古今小のりどと知らまじりの

善正寺 聖護院の東北二町あり法華宗あり奉因寺小属に同基ハ日鏡
上人本獲の撰自秀次公の母義瑞龍院日秀尼あり則秀次公追福の
為小建之し一秀次公乃法名松善正院殿高岸道意と号に當寺ハ山城
國六松林乃一室之每四世日僧上人興起と

釋迦堂 餘松おえ年二月十二日肥前國玉名郡中村の民人靈後と感
トて換人乃細小場まき希代乃。弥勒石佛

月輪 聖護院の小弥勒堂の西田の字あり是月輪兼實公の別荘曰乃之は地中親書
靈尊中て宗徒常小指と

右大臣吉備公像 黒谷觀音堂乃内不安定法皇冠黒袍看して坐像及
帝天平五年歸朝して行基菩薩と号り大長乃像故皇年ハハ
佛也聖觀音堂乃本朝の儒宗あり皇城小聖堂故建先聖先
師九指乃像故依も祀春林二仲釋奠乃具儀を奉祀典文物
等嚴を小色し中平後日本紀ありんたり又徳徳學則曰有黃備
氏者出西學於中國作爲和訓以教國人

明星水 黒谷松頭宗構院小あり
氏者出西學於中國作爲和訓以教國人

稻荷社 大明神と書に寺説曰むり當之の住職之の年松前大明神
大明神と書に寺説曰むり當之の住職之の年松前大明神

迎福寺 直如堂の乾小あり時宗初ハ系極一條小あり故小一條道場とい
佛法擁護の鎮守と云々
佛法擁護の鎮守と云々

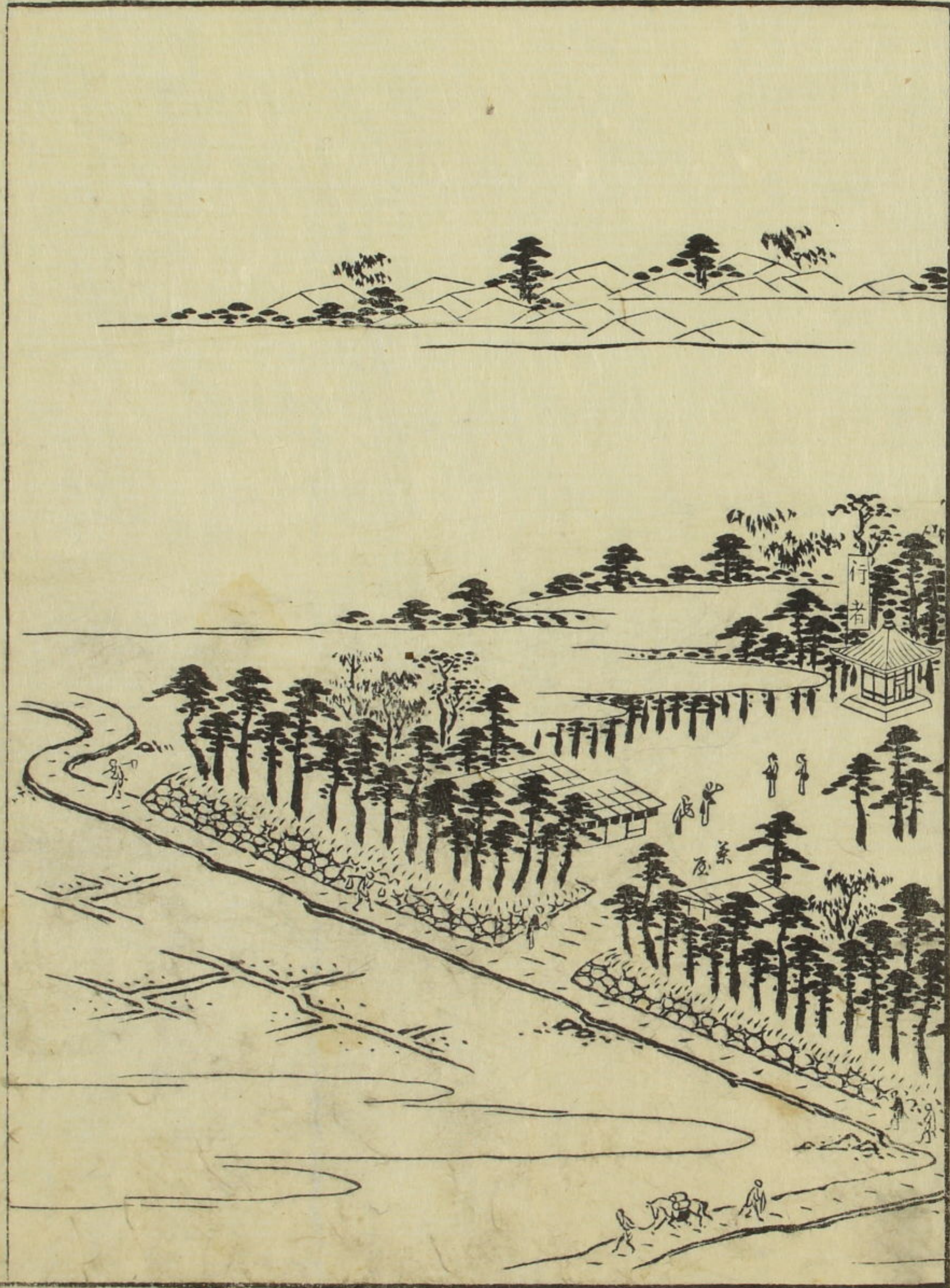
本尊不空羅索觀音 惠心の化立像又尺具外阿弥陀佛
一遍上人の像あり

芝薬師 迎福寺乃西小隣る靈芝山ハ興寺と号に元大宮又此小あり今芝薬師
町といふ古ハ天台今禅宗と号る東福寺の禪月寂澄禪師中興次

本尊薬師佛 運慶の化坐像二尺五寸十二神將行化之像三尺計
寺記曰本尊ハ後多利院勅願所佛工運慶ハ認り
く坐像一軀と造らしちり人獻之乃ぬ来ハ婦人ハ子と信せし宮

園羽像 當寺小あり寺記曰將軍尊氏公ハ夜の爰ハ女未生て今ハ
安坐去とく之ハ小勝の術と教へん大元國小軍神と求て信作と人しと靈
乃作教書又ハ家位高師直ハ狀あり又後多利院序守附の佛舎

利あり



伊澤

聖護院本林
熊野推現社



尾崎

極樂寺

芝系師の西小隣り時宗りて藤澤小属に初ら天台宗りて惠心僧都の開き一一条庚橋のをりし後世さく小寺なり

本尊毘沙門天

右公の化立像又三尺三寸照士左左黒天管神作化二尺計

東北院

極樂寺の西小隣り時宗りて藤澤小属に本堂の額に東北院と書して後西院の震筆なり

本尊辨財天

右大黒天傳教大師の化立像二尺二寸計脇士左毘沙門天曰化

圓白道長公像

衣冠束帯坐像一尺計。道長公、圓白兼家公の男正一位攝政を政大を万壽四年十二月四日薨御を法成寺殿と号し

和泉式部塔

寺内小雲水井 堂あひ西軒端梅 日所小

折みへの東北院といへ上東門院の所願を法成寺堂圓白道長公に據り

法成寺の傍つらつらと後世継ふらつら拾芥抄公一條の南系極東なる

上東門院の所願法成寺の内東山の隅なりと扶桑略記に長元三年八月廿一日

上東門院東小院と供養ありと書し後慶の導師僧正慶命なりと

釋書小のせを又永承五年十月十二日小 天台東小院小行幸あり由百練

抄小ありと云ふ阿婆いへ伽藍魏々壯麗小して天台宗に淨刹之具旧地ハ

今の京極通法成院法門の小遣遠院廬山寺等の地と委り撰の平安舊

圖考小載

小糸式部塔を軒端梅に今所々あり皆東北といへ註曲小

元真如堂

真如堂の山下壇乃地之直如堂の本堂初廬山常行堂小在り時一條院

の殿舎乃境地繪本堂出たりは所ハ其時の舊地なり

本尊阿弥陀佛 之像二尺二寸 白河院宸影同女院御影 共小画

蓮華童子附属瑠璃壇 直如堂草創の時童子を蓮華織の錦の裏に土

佛觀無量壽經と説く人時無數乃衆生法と聽て得道一且頻婆沙羅王臺提希

夫人往坐於阿闍世王と善道小歸入り其説法の座下の土之早七寶の壇に衆

ては靈土と扱れ具上小如來放坐しめまんと其の又曰我名放蓮華童子といふは

永く坐し佛の付んて佛法放擁護とて如來在坐の所ハ必醍醐味乃清泉

醍醐水 堂の山下壇の地小あり

東三條院 旧所ハあり 五幡石塔は安

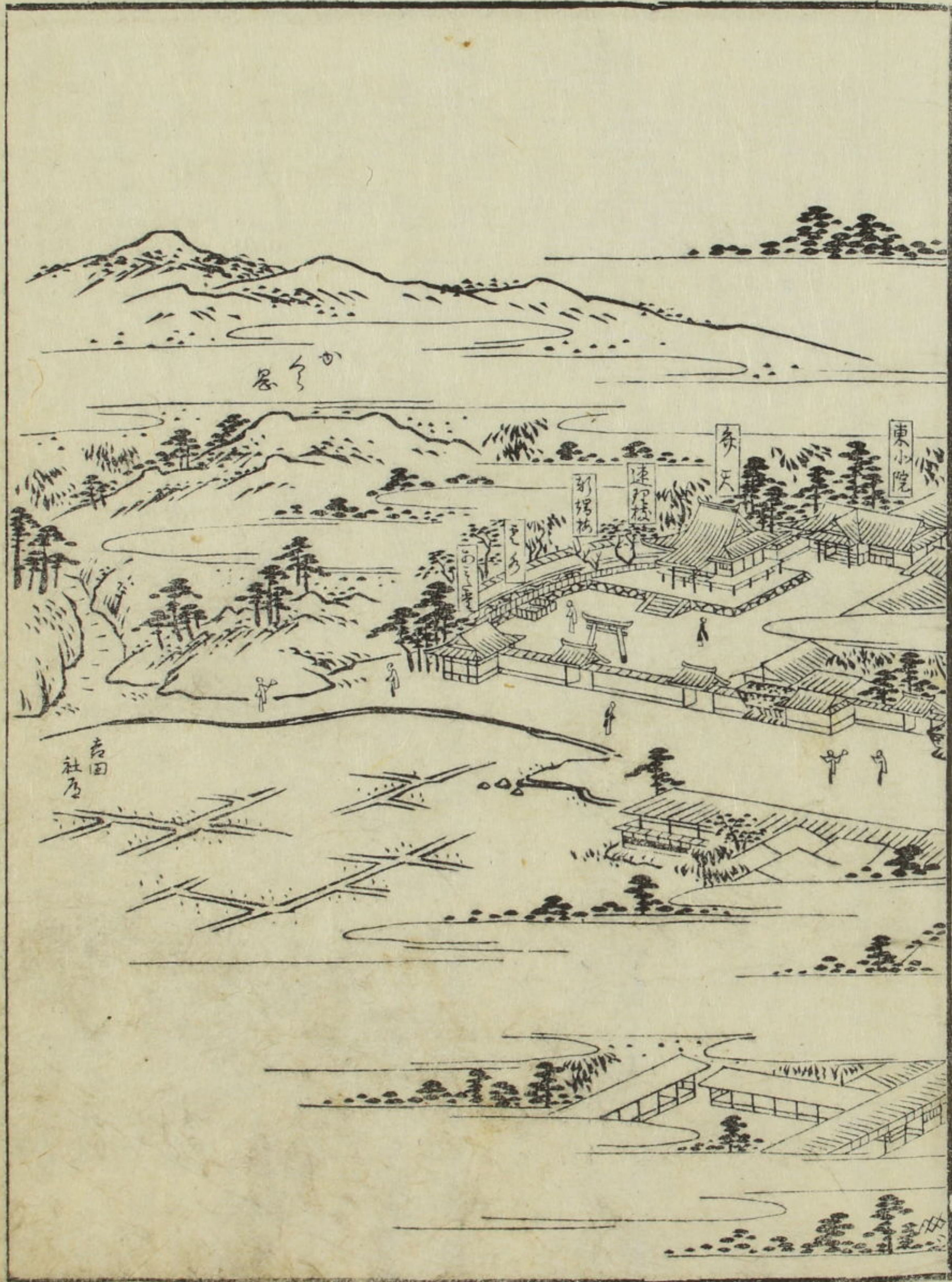
神樂岡 吉田山とて由縁

新六代と祈るいのりの神系を祀る奉れをるそり人

病者のよまるるのそり神系を祀る奉れをるそり人

道真

衣笠内府



真如堂門前
 稻荷社
 迎稱寺
 芝茶師
 極樂寺
 東北院



山本

智福院 神樂岡の南あり 本尊虚空藏菩薩 秘佛厨子之重小して外は注連と張る

西天王社 例祭六月十六日 神樂一基 牛頭天坐岡崎天王と一雙の社

木瓜社 西天王の東あり 例祭八月廿四日 神樂一基

春日社 日所の中壇あり 鎮座の南 神樂一基 神傳を大に

平安城 勅使場 皇妃の社 勅使着坐の場所と云ふ

若宮 勅使場 勅使着坐の場所と云ふ

神樂岡神 神樂岡の北あり 神樂岡の北あり 神樂岡の北あり

ト部兼俱靈社 神龍大明神と稱す 神龍大明神と稱す

新長谷寺 春日社の下壇の地あり 本尊千手観音 立像六尺二寸五分は地

應あり 彼卿の長谷寺に詣りて千手の像を造らん 本尊千手観音 立像六尺二寸五分は地

唐土より 梅檀香木を奉りて 本尊千手観音 立像六尺二寸五分は地

坂崎にて 佛僧の長谷の観音の地とて 同尊と造りて 本尊千手観音 立像六尺二寸五分は地

吉田泉殿 吉田の西北に泉あり 神樂岡の北あり 神樂岡の北あり

彫記曰 白河行隆舟の宅ありと云

本真如堂

涼しきる

野山

念佛

去来



吉田春日社
新長谷寺



吉田の
森れ茂乃花

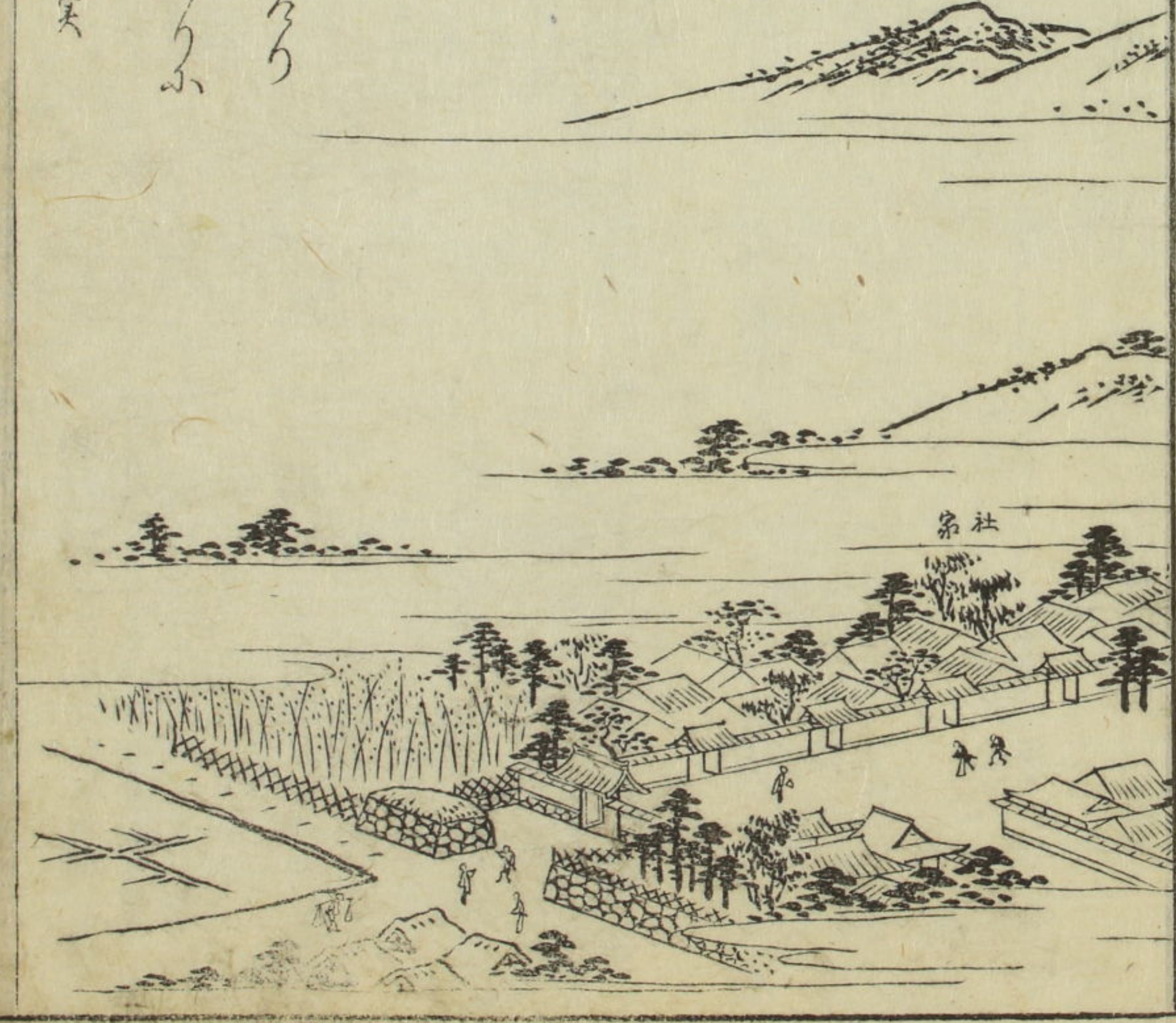
中
の
ま
ま

聖宮元大長

玉葉
とんらたし

おむま居と
只山麓の
名跡
くらりふ

従三位
為実



業平朝臣廟

吉田の真小あり... 中將の靈と神と崇めり... 日サ八日の子の神生報五十六歳小面... 天曆元年七月十一日

二本松

吉田村の外西小一町計あり... 二本松乃有路の傍小あり... 初は所小地藏堂あり

法性寺

鴨川の東岸今出川橋の南小あり... 法性寺の傍小盤秤天秤等鑄形の模擬あり... 常林寺の傍小隣り

正栄寺

法性寺の傍小隣り... 正栄寺の傍小隣り... 常林寺の傍小隣り

長徳院

常林寺の傍小隣り... 地蔵堂... 今出川橋東爪小地蔵堂... 二軀坂安重唐佛

武藏寺

武藏寺の傍小隣り... 武藏寺の傍小隣り... 武藏寺の傍小隣り

青龍寺

田中村小あり... 青龍寺の傍小隣り... 青龍寺の傍小隣り

佛々

小佛々といひ... 故土人字とて... 佛々といひ

地藏堂

所西門の外南向小あり... 地藏堂の傍小隣り... 地藏堂の傍小隣り

後二條院陵

山城國愛宕郡小白川村中あり... 後二條院陵の傍小隣り... 後二條院陵の傍小隣り

二軀石佛

陵の東白河道の左傍小あり... 二軀石佛の傍小隣り... 二軀石佛の傍小隣り

陽成院陵

東の地略云天曆二年十月二日陽成院を上皇... 陽成院陵の傍小隣り... 陽成院陵の傍小隣り

小督局家

白川の流まき小あり... 小督局家の傍小隣り... 小督局家の傍小隣り



鴨子の西原之本
 へ途中松尾の池
 ておしとんりて
 好まぬ小月付
 ある神楽屋のみ
 やしりおのの
 寺院も本の回
 小あつれ近東の
 提振ゆきとる
 人々も只け
 水亭と響應小
 ねとり



伊
澤

千葉寺
青龍寺
武藏寺



菴蔭や
冬の日影乃
千葉寺

標差



源三位頼政山莊黒谷の東中山小田河あり東鑑之治承四年五月廿四日

靈鑑寺鹿谷のあり 奉尊不動明王智證大師の化 因基靈鑑院尼公あり

如意寺靈鑑寺の南ありて谷坂隔て隣あり 鹿宮後水尾院皇女妙法院竟然法親王母公を代々比兵衛所住職あり

龍王宮如意寺の東あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

樓門如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

池地藏如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

葵谷如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

千石岩如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

如意城如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

大豊明神社如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

辨慶屋敷如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

十禪師社如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

中尾山如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

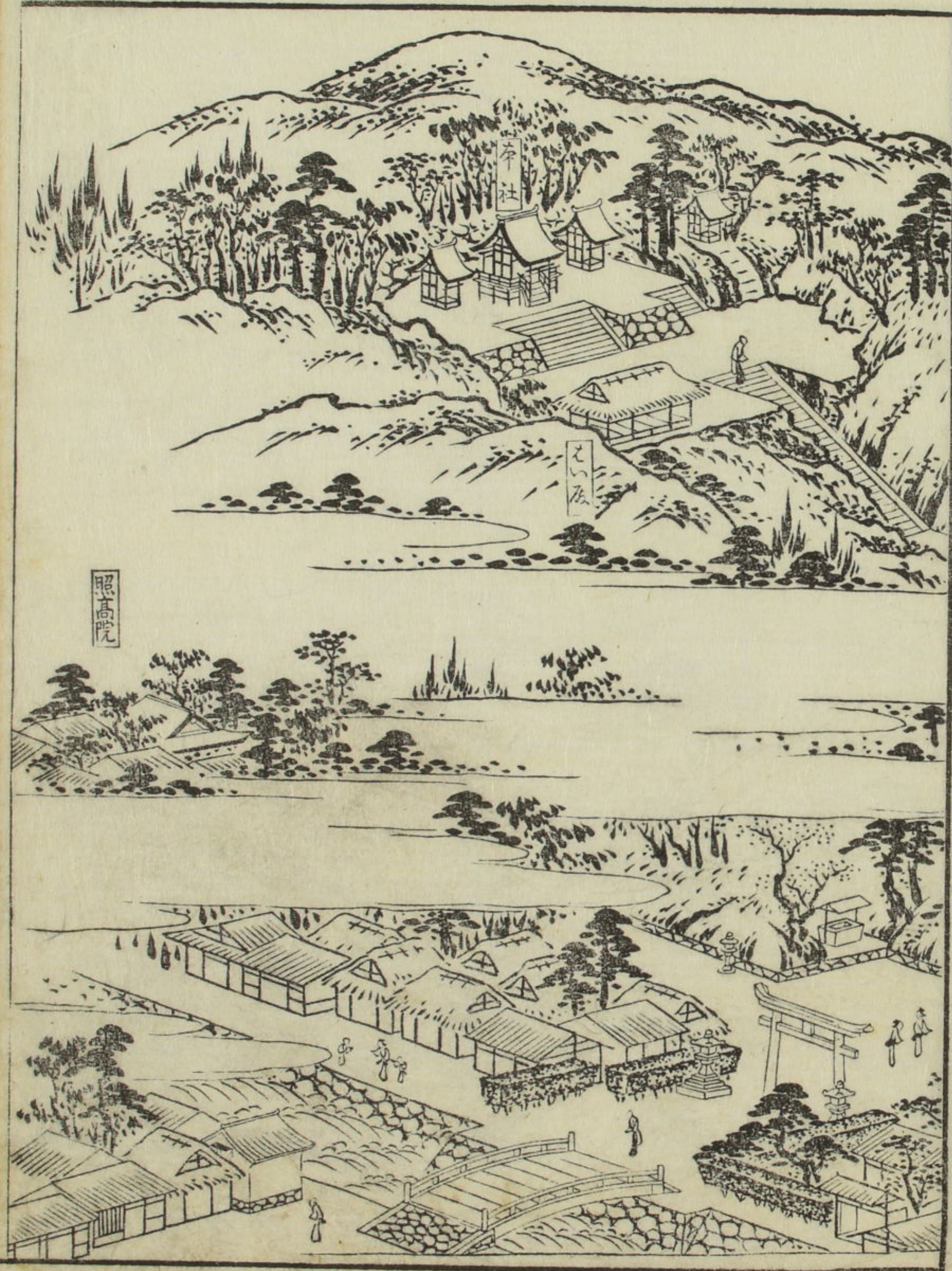
白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

白河如意寺の南あり 如意寺如意寺の南あり 鹿宮如意寺の南あり 因基如意寺の南あり

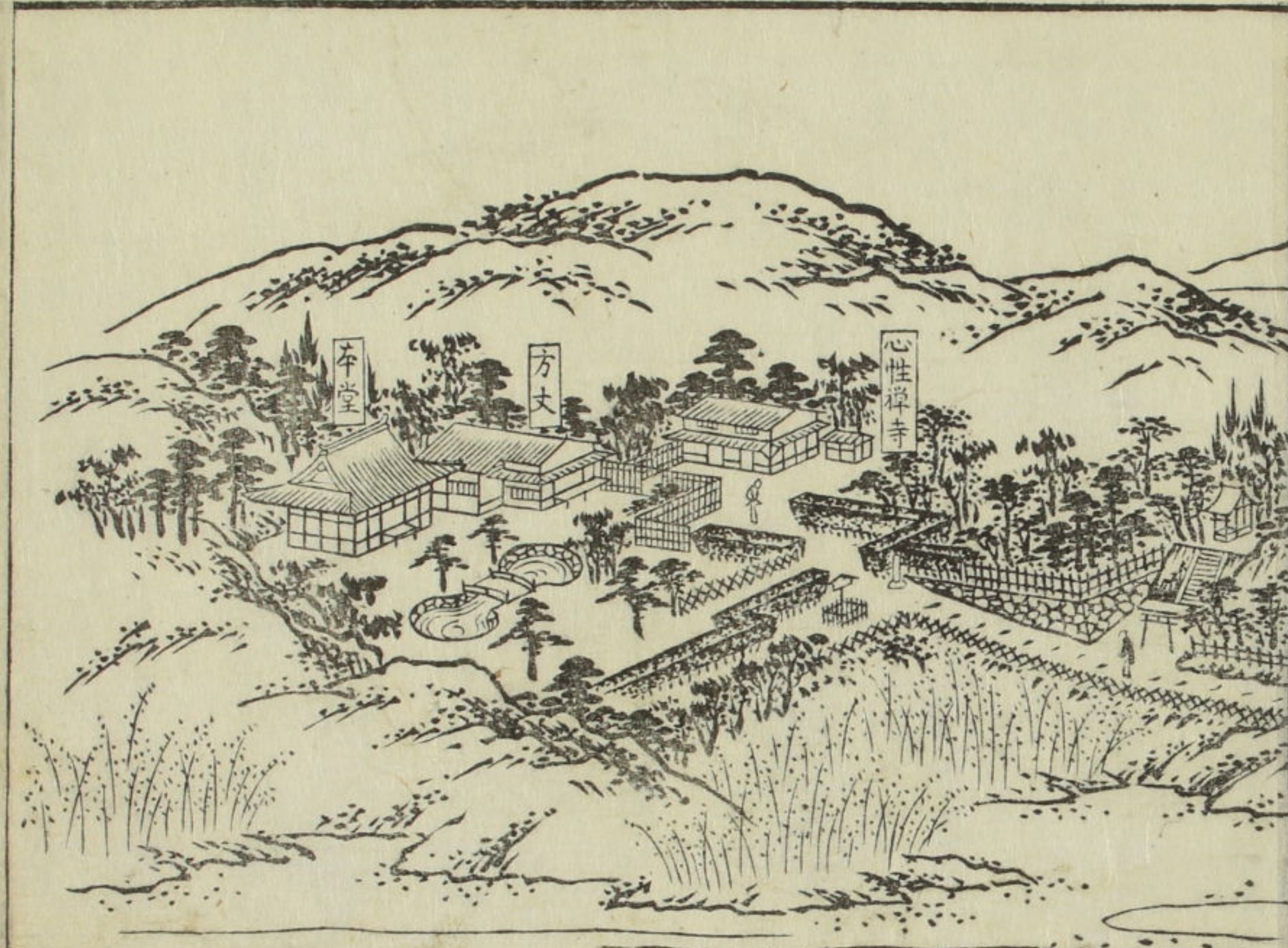


鹿ヶ谷
靈鑑寺
如意寺

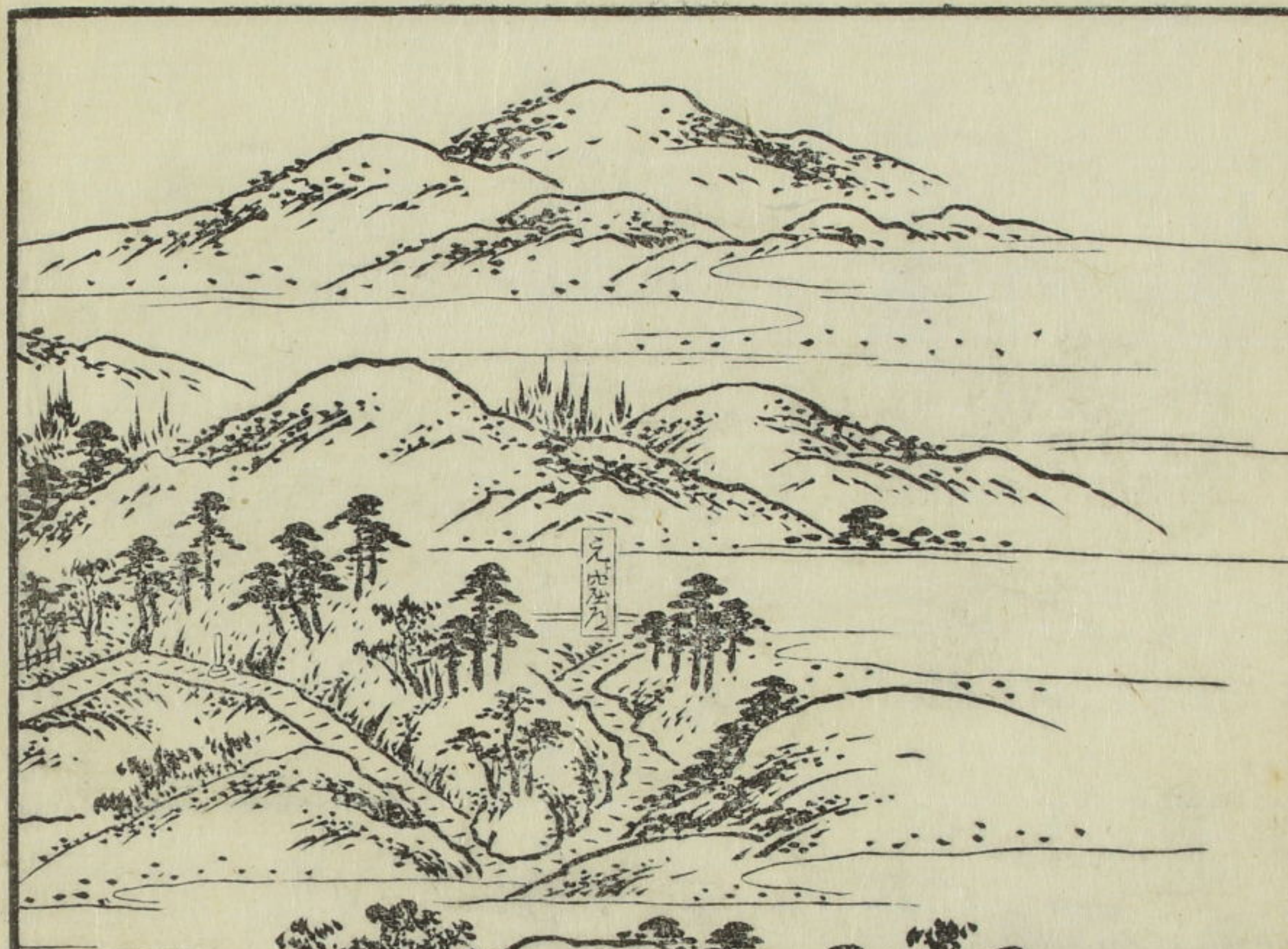


白川村天満宮

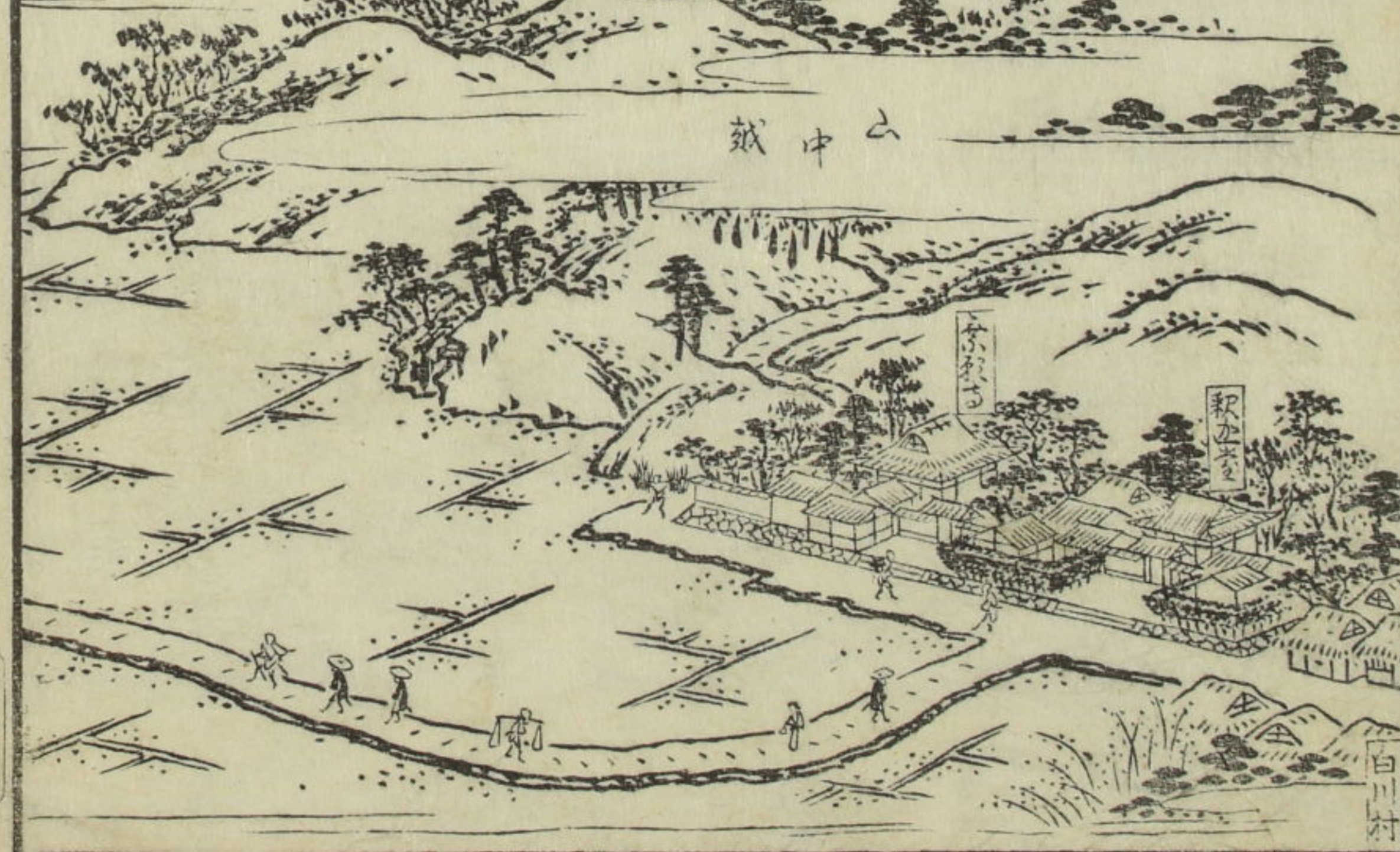
伊澤



白川
 心性禅寺
 兼願寺
 释迦堂



山中城



貞信公亭

白河のあり白河殿といふ
今詳あり

貞信公
神はたねをいままうらまきこの白河の家ははるり後こそ
付々々人のさうしふりて

後撰

あつ河の流れては河川をたれとてふ人せよせし物とや

中勢

延長八年とこのふふくうりて承平又年ふ京にのつて
たはれ白川屋ふおり中勢の地とてふふ舟はく
まうとやわさばよめり

家集

百草の花れをまてうはしつるまらぬ白川の水

貫之

公任卿山莊

小白河れふ花のありろくさえてはるる後とふ
人こまうとさうりたれと

拾遺

まてと人もつらふまの花を省のありし成りれ

公任

敦道のこれとれとれ大納言公任の家ふはりて
又の日はこのつらうりて使ふつてやゆり

新古今

たは人のそれありてあちあてうゑ省の花れをさる

和名式部

中將實方家

新古今

ま中よりふく人におやくありはきりた中ね実方家
船はりて十月半白河の家ははるりてふおの葉はさるとして

前大納言
公任

北白川天満宮

白河村南の方あり土人生玉神と後御祭九月十二日神樂二基居
の額道是法親王御筆之撰社ハ山玉妻日御宮

照高院

旧所小の聖護院退院所之阿基興意法親王寺門の長史聖護院の後修
寺と号に殿舎ハ伏見城の丸と引移し道見法親王修補ふうりて

黄葉集

あさく庭ふ白く面鏡のまらうりて乃きりて

鳥廣

寛長四年九月八日二井寺講堂再興して格と
まらきし照高院宮へまうりてかくせしゆ

流傳集

たふきる二井の流とあてあふはるはのあり

玄旨

寛文元年二月廿五日行幸白河照高院ありて
皆為行宮

里のなれとむる雪にあらはれとれとねれとてうれと

御製

ふる雪の色ももむる雪のなれとあはれとるるのな

照高院
道晃

心性禪寺ハ旧所小の方あり禪宗本寺ハ阿弥陀佛の坐像二尺餘阿基ハ

三剛龍木尚之所是系して洛陽の萬戸暇下小遮る

瓜生山 心性寺の良ふあり元將軍地蔵の地と則古城の形存とまらふ編ふ

新勅撰

ゆ人さうりてを瓜生と峰立ありて藤も啼き

謙徳公

名寄

名ふるくうりてあつる瓜生坂旁のまらうりて

惠慶法師



福塚

極樂
地獄
まねぬ
けれぬ
さなの
もの
あふ
一休



小白河の石佛ハ希代の
大像にしてついでに代乃
他とつふ事と云々後
子小孔子のこはり西
方小聖人あり乱に
言ととハさね
さやうなと

江

頑仙祠

一乘寺郷中舞樂寺村居己山上之町計あり是石川丈山の壽塲あり
墓前の石壇之間計石燈爐二基巡小大木の松之樹ありは地都て赤土の元
石川丈山の姓源氏諱重之初の名嘉右衛門後小在親衛と改む一の諱を
四字ハ丈山云山人と別稱して世に別ふ後ハ乙卯五月

台命と書つて園山の陣小別う竊小宮中とて不意小款軍小入甲首
二級と侍らる具后寛永十八年官と辞して羅山子と友と常小詩歌咏し

諸山の名勝と訪の台麓の一乘と相と嘉道の地と芽と把て屋と構へ

新小詩仙堂と宮と誓て鴨川と渡らる小塾居し終小寛文十二年五月

廿二日卒と年九十歳其餘の前編ふらる。丈山年譜云正保二年擇地舞樂

寺村中山築壽塲構祠於山房之巽隅自号頑仙祠云
寛文十二年六月碑石を建る序文ハ繁ふらるて云小畧ハ

其銘曰
右器識 居林巒 安義節 柳谷散人笠子芭父識

泥蟬冠 懿哉德 天地寛 柳谷散人笠子芭父識

拵け地ハ西面晴と皇城の萬戸雲の如く連と東山と巡り高野鴨川の流り
と揺るきを高低日ハ常小ハ寂寞として英名ハ歳々小流一定し

滿林風雨精靈と護し東坡蜀山の古廟ともいひはる

舞樂寺天王社

舞樂寺村ハ腰小あり一乘と八天王と同社と主人生土神ハ諸社根元記
舞樂寺ハ一乘寺と云ふ遊覧記又二水記云永正十四年十月將軍一乘舞樂寺ハ遊覧記云應永世二年九月舞

金福寺

舞樂寺天王の下小あり禪宗南禪寺小屬ハ中興ハ鉄舟ハ尚なり

芭蕉庵 号ハ正觀音覺大師の住持一又五寸計

序小見へり又庵の北小芭蕉翁の碑石あり清田文真ハ芭蕉翁ハ撰寫經社集乃

芭蕉翁以諧歌聞於海内諧歌即世所謂俳諧者 翁之履歴人往往

詳之盖伊賀人罷仕隠於 江戸又住江之大津遷於攝而終 翁没

七十餘年高士韻人與夫諧歌者流思慕稱讚不已 翁家所在有之

姪道卿新建於東山詩仙堂南金福寺中請予銘焉予義祖伊藤坦菴

先生亦與 翁交坦菴集中有謝 翁邀飲詩云可以想 翁爲人矣

今之諧歌要有二端牛鬼蛇神眩耀蒿目打油釘鉸 脂韋莠口野服葛

中風標如仙而明人所謂那白雲常飛卓程屋上 翁作諧歌清新不

俗澹有骨力庶幾詩家陶韋抑又上援杜陵下伴香 山亦或可擬世傳

翁風神韻朗侯籍如茶泓崢之寄杖履千里可謂進 于枝者矣道卿

名敬義予仲氏第二子出嗣樋口氏爲吾藩同宗川越 侯源公知京邸

事慧而不苛介而能圓多諸枝藝其於諸歌蓋亦有師 受淵源云道卿

與翁生不並世出處異轍而心醉不已至有斯舉蓋 有臭味相契於

才腹貌癯 錦心綉腸 行雲流水 十暑三霜 野老爭席

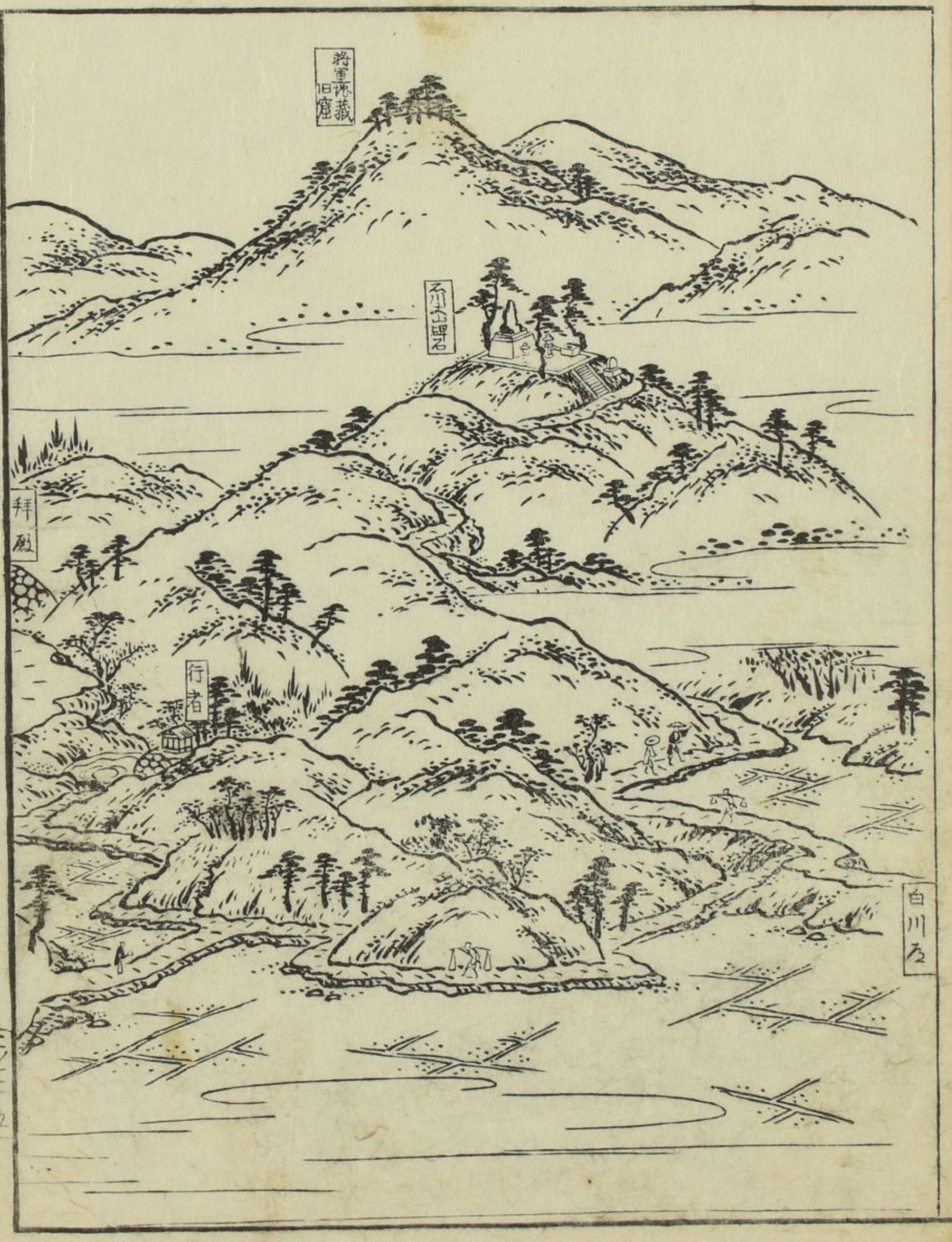
桃李門牆 人與骨朽 言與譽長 勒玳此處 建冢多方

舞樂寺村
金福寺
芭蕉庵
丈山墳

うた
わらわ
の
うた
の
うた

らん
の
うた

と
の
うた





一衆寺村
圓光寺

瑞巖山圓光寺

一刹寺村天王の東二町計あり禪宗南禪寺に屬し初葉

東照宮

當寺東の山上に許鎮坐し移入中興之要和尚清敏請し奉所之

折當寺の野別足利乃學校と慶長元年

台命と嘗て伏見の指月小庵

其後相國寺の内ふりて寛文年中は地移を中興の祖の之要和尚之法嗣

耳峰住禪師小受足利學校乃第九世之印板植字十萬字朝鮮の書籍

二百部 台命ふりて清寄附あり又之要和尚命し茲て都鄙乃國學

派掌し故小洛陽の學校と稱し當寺の清建之 清代之最初と

いひ傳ふ 今の世小力者大物と牽動とる久小之要々々といふ事ある寺より記と

慶長乱後記林道春云 足利學校の參議篁の建之我國庠序ありて書生受業乃旧館なり社

領二百五十石あり近代九承老人次小銀講誦は大同の時儒法漸く

廢して相國寺の圓光寺住長老と之社と持たり云

葉山觀音堂

圓光寺の長二町とありあり林丘寺清所の清抱所と奉る馬

檜垣塔

觀音堂のありふりあり三層あり又 坐禪石 具儀あり由縁



葉山觀音



曼珠院
天満宮



路鳥杜 曼珠院の西あり平林ありて中社あり糸林鬚眉天王修学寺村生

月輪寺舊跡 日所の山田圃の字ありて前小書しる月輪寺旧寺あり

家集 小聖宮大まうら君乃月輪寺の花足傳ふ

新古 小聖宮かかいまうら君乃月輪寺乃花足傳ふりて日よめ

後古 鳥居公月輪寺乃花足傳ふりて日よめ

不動堂 大町の化立像八尺計殿嶽小属

不動龍 本堂の東あり

水飲 を母坂あり後清泉漏出とる年増減

池池 を母坂と登る路の左あり今個て

音羽谷 雲母寺の東南あり上古跡ありて崩落跡と標を年経てを母と

権中納言敦忠山莊 拾遺集小出

林丘寺 雲母坂の下あり本尊聖觀音立像二尺餘

後水尾院宸 書圖同宮妙法院梵恕法親王の御筆

岡山照山元瑤禪尼公 後水尾院の禪尼之禪法小取しは地衣庵と禪刹と一

修学寺八景 隣雲夜雨 茅檐秋月 村路晴嵐 修学晚鐘

修学寺行宮 後水尾院帝行宮の字ありて清泉

遠岫歸樵 松崎夕照 殿峯暮雪 平田落雁

林丘寺 雲母坂の下あり本尊聖觀音立像二尺餘

後水尾院宸 書圖同宮妙法院梵恕法親王の御筆

岡山照山元瑤禪尼公 後水尾院の禪尼之禪法小取しは地衣庵と禪刹と一

修学寺八景 隣雲夜雨 茅檐秋月 村路晴嵐 修学晚鐘

修学寺行宮 後水尾院帝行宮の字ありて清泉

遠岫歸樵 松崎夕照 殿峯暮雪 平田落雁

林丘寺 雲母坂の下あり本尊聖觀音立像二尺餘

後水尾院宸 書圖同宮妙法院梵恕法親王の御筆

岡山照山元瑤禪尼公 後水尾院の禪尼之禪法小取しは地衣庵と禪刹と一

修学寺八景 隣雲夜雨 茅檐秋月 村路晴嵐 修学晚鐘

修学寺行宮 後水尾院帝行宮の字ありて清泉

遠岫歸樵 松崎夕照 殿峯暮雪 平田落雁

林丘寺 雲母坂の下あり本尊聖觀音立像二尺餘

後水尾院宸 書圖同宮妙法院梵恕法親王の御筆

岡山照山元瑤禪尼公 後水尾院の禪尼之禪法小取しは地衣庵と禪刹と一

修学寺八景 隣雲夜雨 茅檐秋月 村路晴嵐 修学晚鐘

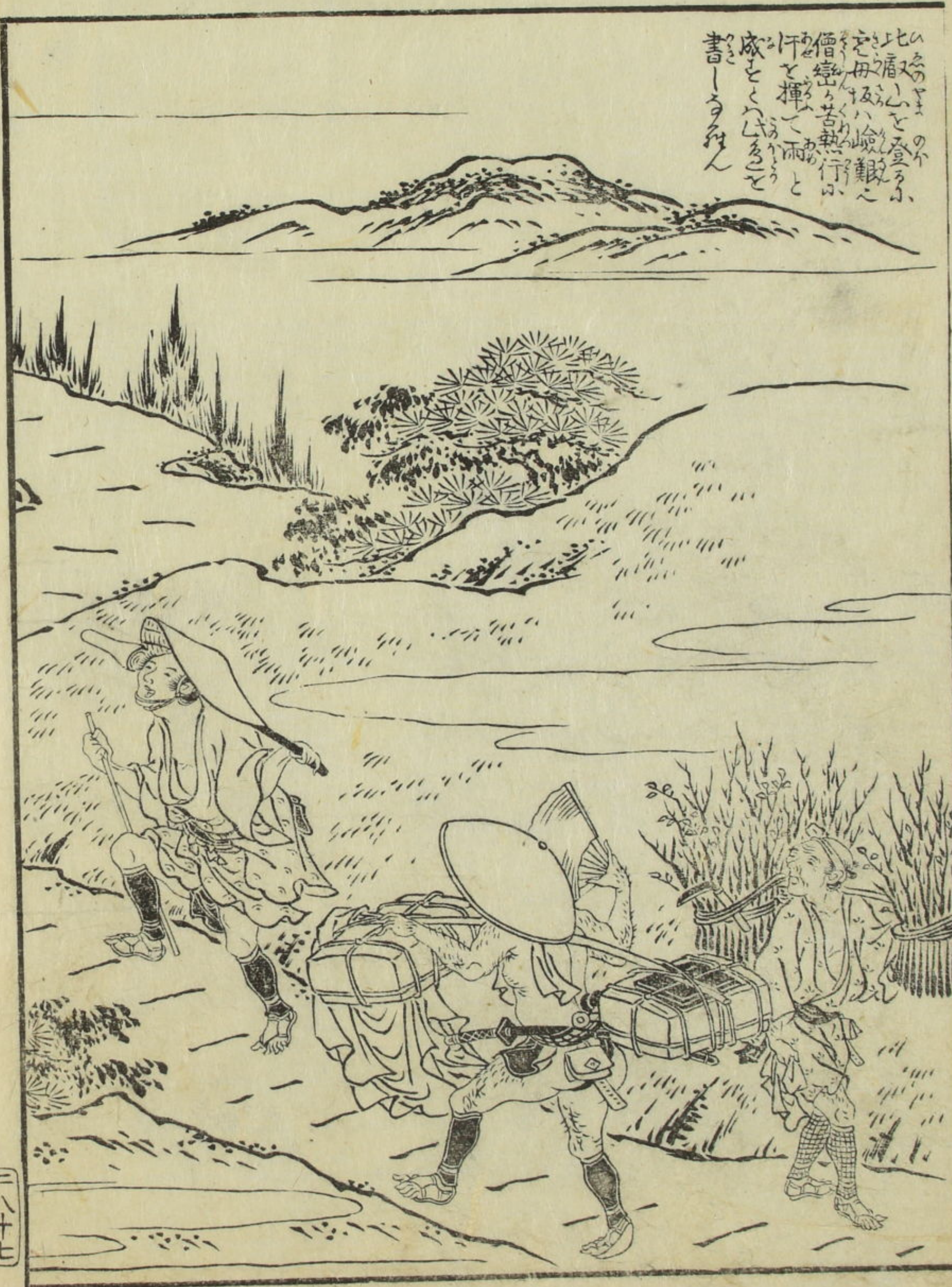
雲母坂
雲母寺
林丘寺



林丘寺



伊三



此の山は
 僧侶の
 修行の
 所なり
 故に
 草木
 花鳥
 一切
 皆
 修行
 の
 具
 とな
 り
 故
 に
 僧
 侶
 等
 は
 此
 の
 山
 に
 入
 り
 修
 行
 せ
 る
 事
 多
 し
 故
 に
 僧
 侶
 等
 は
 此
 の
 山
 に
 入
 り
 修
 行
 せ
 る
 事
 多
 し
 故
 に
 僧
 侶
 等
 は
 此
 の
 山
 に
 入
 り
 修
 行
 せ
 る
 事
 多
 し

道入寺

修学寺村の南あり法華宗

禅華庵

日所の東あり禅宗大黒天 畫景二幅射と安んずる本像大黒天

守禅庵

赤山社二町計山の腹あり禅宗開基の徹翁義亨高之太燈

大納言年名郷田蹟

今赤山明神の 著門集之嘉朝より貞觀十九年三月十八日大納言年名郷小野乃云

山端

修学寺村の西あり若狭街道より八瀬大原の喉の毎不足り

理即院

日所西側あり本寺地蔵多ある僧部の住坐像四尺計一尺小曰

赤宮

修学寺村の北高野川原村あり祭神稻荷明神享保年中不干

寶幢寺

高野村あり浄土宗西山派開基旭移上人

本尊阿弥陀佛

立像長三尺計して相好貴奇之傳之初は別志

歸命山蓮華寺

寶幢寺の小山あり天台宗山門小属に初は浄土宗

本尊釋迦佛

坐像八九寸計寛文中賀列乃老臣今枝民部近義

今枝宗二居士名碑

佛殿の小山あり銘文木下順庵撰に云小畧に

漱玉

井屋の額へ 峨山稿云相傳原有云麓蓮華寺惠心僧都所供後

高野社

高野村東の系神早良親王 又高野の神靈と樹土人生土

出雲高野神社

社と云人より。神祇拾遺云八所淨靈乃自崇道天皇

山城國高野

淨靈云

伊澤

二八八

其角

其角



光武帝の
 皇孫として
 飢と法に
 後漢乃社
 稷穀細の
 少いなり
 此と表紙
 となす名
 物と見
 其の目
 出たてあ
 小より
 物々人

山端

市茶屋

池子村

八束石

小舟

川那吉



三ノ江村

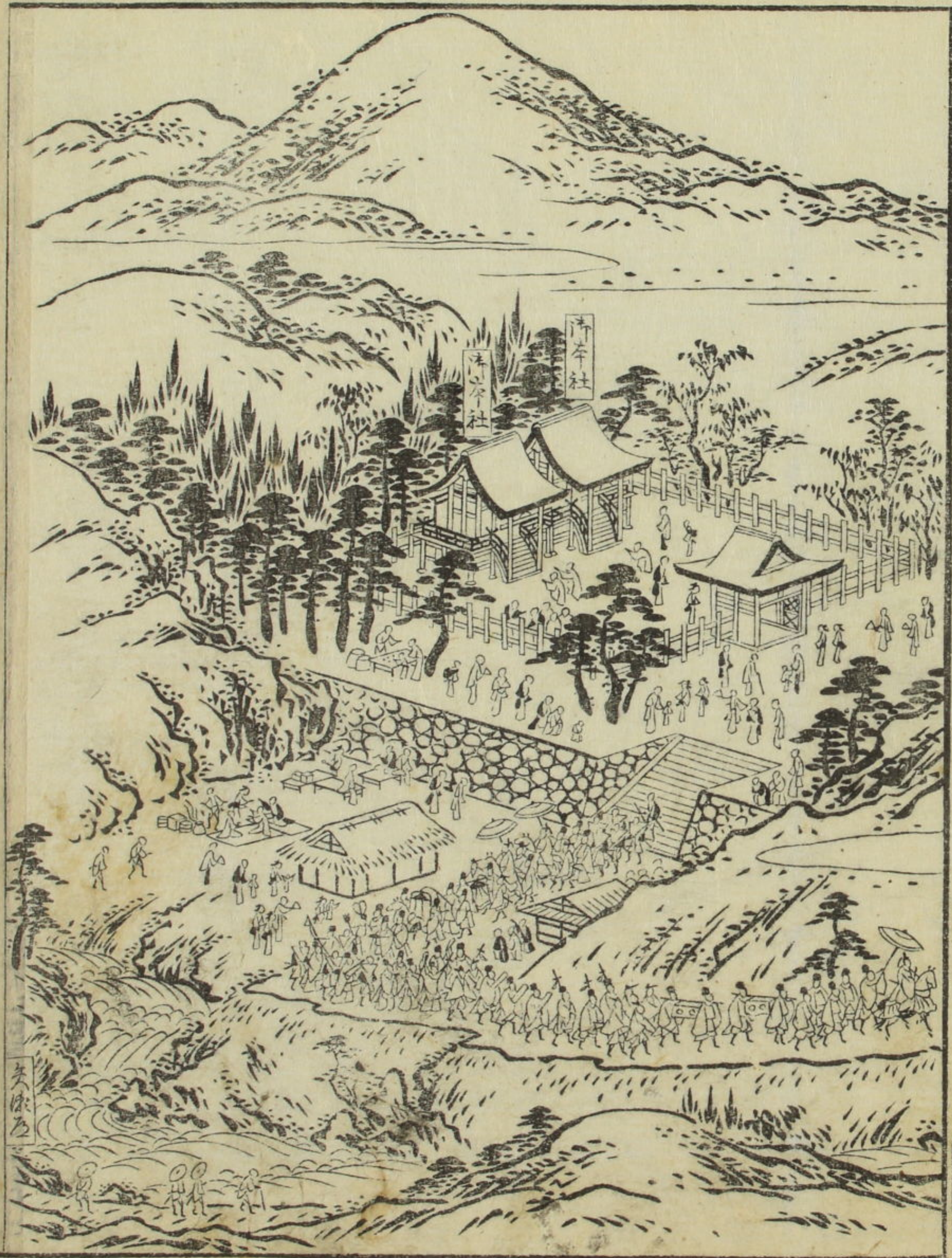
三ノ江
三ノ江

高野蓮華寺
高野社



八坂

三ノ江



伊澤
二九三

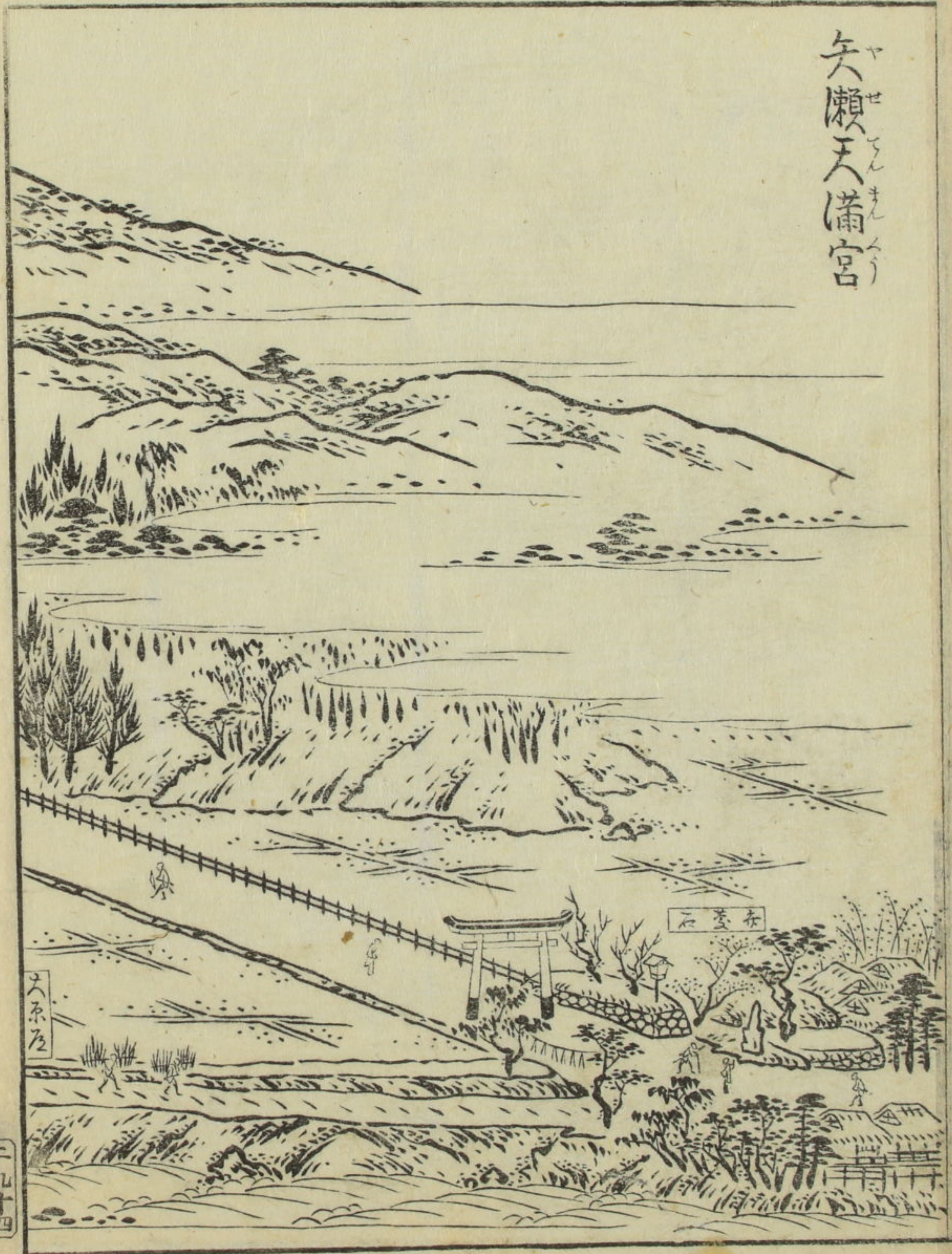
御蔭社御祭

家集
 葵のまこと
 くりぬ神の
 ころけふ
 むくのねを
 今も
 叩こた
 為家





矢瀬天満宮



炭竈里

大原郷小ありむり小神とあり

新編書

よそありきこむしと志以系や煙たると炭のまろさ

土門院

波那志里社

大原乃里南の郷路傍の右小あり

源太夫社

北小江文の一多居小あり

仲実

上野

大原郷の内戸寺村のゆ

十禅寺

戸寺村のひり三町計山脈あり巡り源太夫にて中戸堂あり

龍女山攝取院

大長原村小あり一名本尊阿弥陀佛

同基澤住法師

聖徳太子の化坐像三尺二寸

無住ありて村中よりこれに護は

惟喬親王舊跡

上野村南の方田の家小所也といふあり傳云惟喬親王

其地小古た石塔あり土人云

惟喬親王乃所墓ありと云傳

古今

忘ていふ

業平

雪乃うら日小野小まくりてけり

後志

心室のいつくも竹の雲生しく香

頓阿

小野神社

神名帳曰小野神社二座愛宕郡

敏行朝臣家

小野小あり一由後古今集小

亭子院敏行朝臣のの家小橋の花清

後古

名いそてふ

伊勢

勝手社

大原乃蓮華院西之乃勝手社小あり

吉野金峯山小詣し勝手社小法施し

大原小至って上人乃弘法

西方院 上野村の中あり寂忍法師の般若尼の塔寺也小ありは尼ハ

真光寺 大長頼村の小あり本尊釋迦佛行基の位坐像又入計

賣炭公羽墓 勝林院村極樂院の後小ありは地則小群心少して哥ハ乃

翁ありは所も具首長の

墓ありん

拾玉 小野心も大系心も炭後の煙ハありありあり人 長鎮

住吉 炭は氷室も小野心火と水とを隔りたれ 後成

百首 炭焼やれ海乃乃清水鼻を足は 具角

小野氷室 延喜式曰山城國愛宕郡

千載 下をる氷室の心は進橋をさつる雪々をりんは 源伸正

拾玉 ともこそ小野の心は氷室をこれ涼さへ反ありぬ 慈鎮

堂徳橋 大系橋井所の小ありは橋紀別高野心乃 津廟橋 奥別松乃

伊澤

来迎橋 莖橋格乃小あり截石の格して撫干銅の擬寶珠あり郷中の葬送

後鳥羽院陵 帝陵記曰北大原勝林院塔頭寶光院小あり大華所ハ隠岐國

獅子石 融通寺堂の右小あり良忍上人あり小祠と建は

羅漢橋 融通寺堂の右小あり良忍上人あり小祠と建は

法然上人腰掛石 日所の西小あり徳之上人勝林院本尊小系指乃肘を

姫祠 勝林院村往還の西小あり 大津杜 草生村北二町とりの

良運山莊 大系小あり一袋州子小あり

清輔袋州子 曰人々大系小遊行とあのかく騎馬一々小後頼朝臣

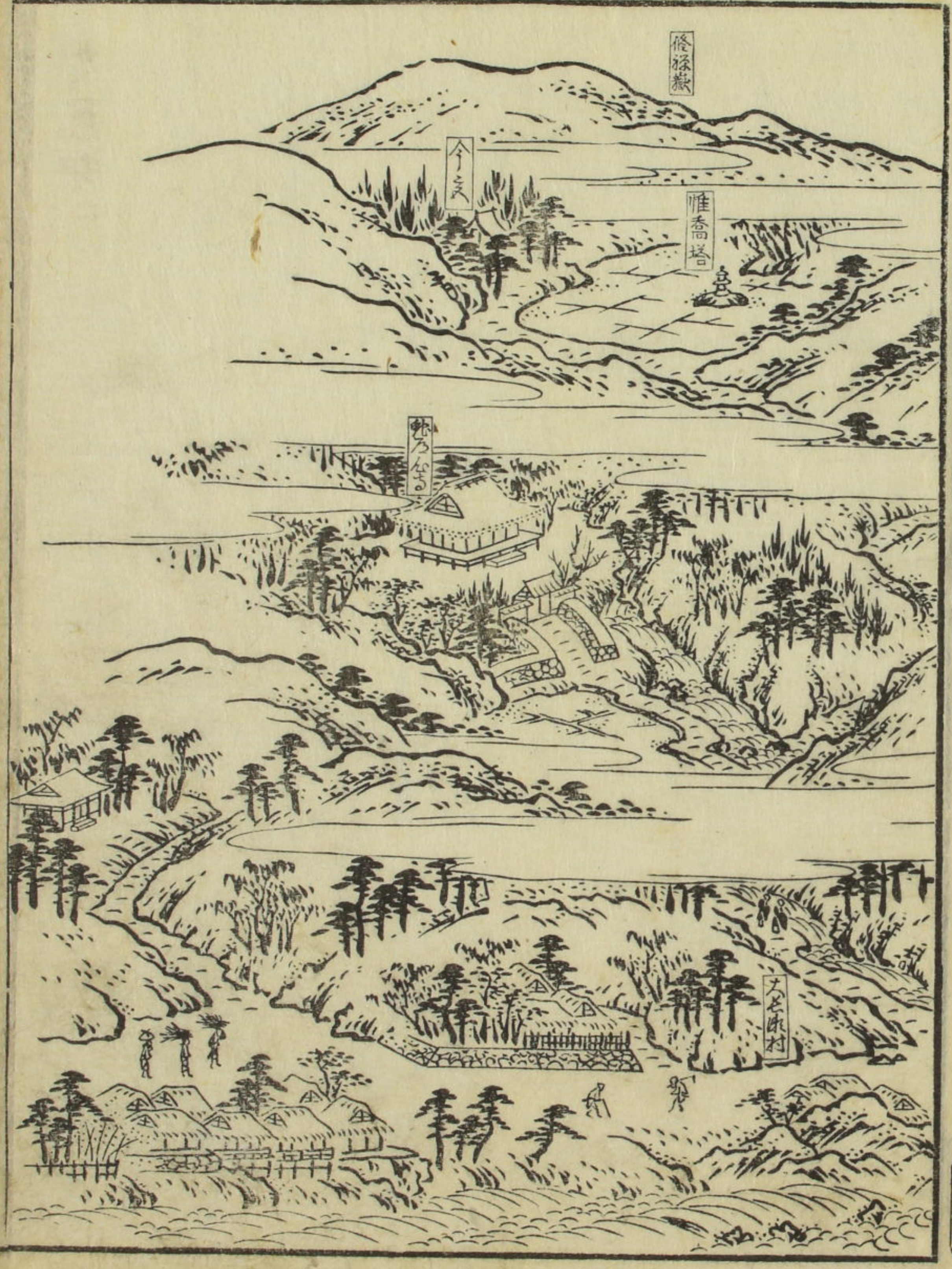
感歎 皆下馬して行はぬ伴の良運房乃心莊今小於てありと

障子小書 哥いも消むと

心室の甲斐ありあつたまもも初考さしてはは 良運

後拾遺 小有つて定頼卿の和系小末同トを免つるも是ハ詠一

真守鉄盤石 茶生村の東野村の内小の方小あり信云は所鍛治真守が



後拾遺

今

唯喬塔

大原

大原村

伊澤

二九六



大原郷口

後拾遺

大原はめて橋の

とこやくき坂

少

大原ふ乃

雪の

村

和泉武部

茶師堂

茶師村

寂光院

草生村小あり前寂光院ありは地時鳥乃名也去海ありて卯月
の海都下乃驛客古小寂光院ありて其賞を
女院のふり海を所之尋糸くやくありれ小

家集

やまむらやまと海はれくふもさうらうらふれ

右京左

世中小事そそ寂光院のくふもさうらうらふれ
後小多し久これゆりて建礼門院大系ありて
海しきりふ系てその中きりふつててもさぬ
さいふも事おかくていさうやうくおえゆられ

玉葉

くかくてめくらあふも悲は世をさうらうらふれ

僧正全真

あやけや阿波乃内侍のあれふ果

鷺水

火壺雨壺風壺

井出村江文社の後山あり山向小自然乃之窟
火壺雨壺風壺しそ石乃蓋あり早の時雨壺小向入て雨と禱ふ

土人怖

龍華越

大系の奥小出石村乃北小ありて城峠ともいふ
其小は橡生村ありて溪川と帯は足比敷と比良嶽と乃

故小龍華橡生といふ

静原峠

江文の社乃西小ありは坂と越て長谷岩倉小至るそれうり鞍馬に
出成委の方と當つて凡一里半計之

補遺都名所圖會

青龍卷終

